

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		
	理念に組み込み実践しています。スタッフ一同理念を大切に受け止めサービス向上に努めています。		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		
	月一度実施しているミーティングをはじめ、日々の行動において常日頃から理念に立ち返り取り組んでいます。		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		
	目につくところへ明示している他、重要事項説明書にも記載し口頭でも説明、ご理解いただいた上でサインもいただいています。		
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		
	利用者様と近所のスーパー、花屋、床屋、美容院を利用し馴染みの関係作りに努めています。また時々自治会長をはじめとするご近所の方々にもグループホーム内を積極的に見学していただき気軽に立ち寄れる雰囲気作りに努めています。		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		
	自治会主催のゴミゼロ運動や行事には全て参加させていただいています。また地域の悠々クラブ(老人会)のボランティアも受け入れお互いに協力しあえる環境作りにも努めております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>地域の高齢者独居世帯マップ作りが現在自治会で進行中です。完成次第、こちらにも配布していただき利用者様の散歩コースに組み込み注意して見守っていただくと体制を整えています。</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>サービスを向上させる為の一つの要素と捉え、迅速に改善へむけ取り組んでいます。</p>		
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>グループホームの現状を理解していただけるいい機会となりました。最近では災害対策について話し合い、悠々クラブ(老人会)の会長が阪神大震災の体験者という事で今後は具体的にお互いどう取り組むべきか話し合っていく予定です。</p>		
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>担当者の方は小さな事から専門的な事まで何でも相談しやすく、またそれらに対して迅速に対応していただいています。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>施設外研修で各職員が学び得た物を職場内研修という形で報告するだけでなく、それぞれが理解できるように努めています。</p>		
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>千葉県高齢者権利擁護、身体拘束廃止推進研修、基礎・専門課程への参加をはじめ、職員全員が正しい知識を持ち絶対に虐待はしないという姿勢を持つことで防止に努めています。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約書を交わす際は必ず口頭で説明、ご理解いただいた上でサインをいただきお渡しするようにしています。</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>特別な機会を設けるのではなく日々のコミュニケーション、特に個別に対応する時間を増やす事でより密接な信頼関係を築き、家族のように何でも話せる雰囲気作りに努めています。訴えが少なくなるより多い方がよいと職員一同前向きに捉えています。</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ホーム便りを2ヶ月に1回、個々の御家族へは職員から毎月お手紙をお送りしています。利用者様の日々の何気ないひと時の事から行事の時等の様子を少しでも御家族へお伝えしたいという気持ちからはじめ、現在も続けています。</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>連絡方法は重要事項説明書に明記、玄関には意見箱も設置しています。また御家族より職員へお話しがあった場合、相談処理という形式で今後の対応も含め記録を残しています。</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月一度のミーティングでは代表取締役にも参加していただき、職員一人一人の意見も聞いていただいています。</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>利用者様の生活を中心に自然と職員が業務についています。現状の勤務時間で無理がある場合は組織としていつでも変更届けを出せる柔軟な姿勢を持つようにしています。</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動があった場合、利用者様をはじめ御家族にも報告やあいさつをするようにしています。ただ、どこにしようと皆様にとってかわりない職員であるよう馴染みの関係を大切にしています。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設外研修は適応者全ての職員へ平等に機会をいただいています。それ以外でも勉強会の情報や資料、必要な参考書も購入していただいています。		
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	千葉県グループホーム連絡会主催の研修会等への参加を実施し他の事業所と馴染みの関係を作るように努めています。		
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	親睦会をかね、夏にはボーリング大会や食事会、冬には大忘年会を開催していただいています。		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	夜勤者の申し送りやミーティング等、日頃より職員一同の話に耳を傾けていただき、常に労をねぎらう言葉掛けをして頂く事で職員の志気が高まっているようです。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	何でも言える相手と思っていただけるよう、まずは信頼関係を築くよう努めます。内容に関しては代表取締役や職員一同で話し合い対応していくようにしています。		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	私達が御家族に対して受容する姿勢を持つことは無論、私達も御家族の助けがなければ前進できず、お互い必要としいい助けあっていく存在である事を理解していただけるよう努めています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	私達では対応できない場合、ご希望者には関係機関をはじめとする他事業所へ連絡し対応を依頼しています。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前にはできるだけご本人にも見学に来て頂く様にしています。それらが困難な場合にはご本人の事を一番理解されている御家族とご本人にあったペースと一緒に考え都度対応しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者様がありがとうと言うのではなく、言われる事を大切に考え支援しています。		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	御家族の協力なくしては利用者様の生活支援はできません。お互い必要な存在である事を理解しあい大切にしよう努めています。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	外食等の行事への参加を御家族にも積極的に促し予定表を各ユニットのエレベーターホールにも掲示しています。利用者様と一緒に時間を過ごし楽しんでいただけるよう支援しています。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人の方々との外出や面会等、御家族の同意を得た上で実施するよう支援しています。またホームへ入居される前より利用されていた美容院等入居後もご利用して頂くようにしています。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	職員があえて間に入らず利用者様同士のみの時間を大切にしお互いの居室等を行き来する環境作りにも努力しています。また利用者様同士のトラブルにも後に職員がフォローするようにしあえてストレスがたまらないよう、ぶつかり合うのも必要だと捉えています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	協力を必要とされている御家族とは連絡をとる等の対応を続けています。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式によるアセスメント方法を活用し利用者様の訴えをその場だけのものにせず記録を残す事で把握できるように徹底しています。また職員全員がセンター方式への記入をすることで利用者様の様々な思いを掴む事ができ、職員も利用者様の立場に少しでも近づく事ができます。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活を続けていく中で信頼関係を深め利用者様や御家族から得られる情報を大切に活用させていただいています。またそれらをセンター方式へ記入する事で職員全員が情報を共有しサービス向上に努めています。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	月一度のケアカンファレンスで各職員が個々に捕らえた利用者様の情報を交換、共有しどんな小さな事でも話し合う事でサービス向上に努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画についてのモニタリングやアセスメントは職員全員の意見が反映されるように努め、月一度のケアカンファレンスでも全員で話し合うようにしています。また御家族にもプランについて個々に必ず説明し意見を伺うようにしています。		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	各職員によるモニタリングやアセスメント、御家族の意見を参考にし定期的にプランの変更等を実施しています。急な体調変化等には随時対応しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常生活の状況をタイムリーにケース記録へ記入し業務日誌の記入も実施しています。これらの情報を活かしモニタリングやアセスメントの記入、そしてプランに役立てるよう努めています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	デイサービスが併設、利用者様同士の交流を目標に行事等の共催や設備の共有等を実施しています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域住民によるボランティアの導入や小中学生の現場実習、消防署立会いの避難訓練等多くの方々のご協力をいただき実施しています。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	今後希望される方がいらっしゃる場合、対応できるよう他事業所とコミュニケーションを図るように努めています。また研修等で一緒になる他事業所職員との馴染みの関係作りに努めネットワークを作るようにしています。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	これまで何度かケースに応じて相談、助言をいただいております。迅速に対応していただいております。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	宮本内科医院にて定期的に受診をうけています。季節柄院内に感染症の患者様が多い場合には宮本内科医院の先生のご協力の下往診へ切り替える等の対応をとっていただいております。また先生の判断にて他医療機関の受診が必要な場合、利用者様や御家族のご希望があった場合等も対応させていただきます。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員の意識の向上を図り、徹底して対応するように努めています。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>全ての中心は利用者様であり、利用者様個々の特徴をふまえた上で上手に意見や願いを引き出せるように努めています。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>ご本人の体調を考慮したうえで日々のスケジュールは皆さんに決めていただいています。均一した対応はせずに個々の満足を大切にするように努めています。</p>	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>近所の理・美容院を利用していますが違う所やこれまで利用を続けられていた所をご希望される時も都度対応しています。</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者様のできる事、得意な事を活かし実施していただいています。献立は事前に作成はしていますが利用者様の希望にて変更する事も多々あります。</p>	
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>望む者を一方的に用意するのではなく一緒に外出して購入する等個別の対応にも心がけています。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>トイレでの排泄を心がけおひとりおひとりの生活リズムは日々の記録や月一度のケアカンファレンス等で話し合い利用者様の不快感につながらないように努めています。</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴は毎日実施していますが基本的には利用者様の希望に応じて対応しています。入浴時間が楽しいのは無論、リラックスできるようにも努め職員もコミュニケーションを図れる大切な時間と捉え対応しています。</p>		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>職員は利用者様おひとりおひとりの生活リズムや体調を観察や記録、申し送り等で把握し利用者様が自由に時間を過ごせるように努め支援しています。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>単調な毎日にならないよう利用者様の役割や達成感、望み等を実現しつつ職員も一緒に楽しみながら有意義な日々を送れるよう努めています。</p>		
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>利用者様の所持金は金庫に預かっているものの希望に応じて自由に出し入れし、好きなものを購入したり食べたりと利用者様が各自の力で満足できるよう努めています。</p>		
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>食材の買い物や外食、地域の催し物や散歩等頻繁に外出しています。また、なるべく社会資源の活用も心がけ図書館の活用も予定しています。</p>		
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>独居だった方のご自宅や若いときに行った店、場所等利用者様の個々の望みにそった個別の外出も実施し皆様の満足を少しでも得られるよう努めています。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話等利用者様がご希望される時に実施、職員から月一度ご家族へあてたお手紙を時々利用者様自身が書かれる等希望にそった対応を実施しています。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	利用者様個人の古い友人、ご自宅にいらした時のご近所の方々がよく来て下さって個人の居室やリビング等望まれる場所で一緒に過ごし周囲に気を使わないように配慮し対応しています。また自治会長の訪問もあり利用者様と一緒にお茶を飲む等の関係作りが進んでいます。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	千葉県高齢者権利擁護、身体拘束廃止研修、基礎・専門課程への参加をはじめ、職員全員が正しい知識を持ち絶対に拘束はしないという姿勢を持つ事で対応しています。これまでも今後も実施する必要はありません。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	これまでの指摘を考慮し、利用者様が自由に外へ出られるシステムを導入する等の対応は実施してきましたが、防犯上の安全がとりにくく、利用者様の安全を第一に考慮した上で施錠対応を続けています。		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者様の意思を尊重しお独りで自由に行動されたいときは距離をおいて見守る等の対応を実施しています。また安全への配慮を考えすぎ利用者様の行動を制限しないように注意する事にも努めています。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	ミーティングやアセスメント等を活用し状況に応じて保管場所の対応を工夫するように努めています。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	連絡会等より他事業所の事例等の情報提供があり、それらについて月一度のミーティングで話し合い確認するように努めています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	宮本内科医院の先生のご協力のもと、より専門的な知識を身につける為の勉強会等を実施する他、マニュアルを作成、その他にも分かりやすい参考書を購入する等の対応をしています。		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回訓練を実施し消防署の予防課の方々にも参加、ご指導いただいています。また訓練にはご近所の方やご家族にも参加を促し、ご近所のスーパーには参加を募集するポスターを提示し皆様の参加を受付、一緒に消火訓練を実施しました。		
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	個々のご家族とは常に情報交換を実施しケアプラン説明時にも確認するよう努めています。必要に応じて宮本内科医院の先生とも直接お話しをしていただくように努めています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝バイタルの測定を実施し体調の変化を早期に発見できるように、また変化や気づきについて申し送りノートやケース記録を活用し各職員が情報を共有できるように努めています。更には宮本内科医院協力のもとわずかな変化でもすぐ対処していただくよう体制を整えています。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	受診時に対応した職員は必ず申し送りノート等を活用し職員全員に伝わるように努め処方、薬の作用等についてはすぐ確認できるよう記録にファイルしています。また内服薬の変更があれば服用後の状態変化に注意し記録を実施、必要に応じて主治医に報告するように努めています。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便有無の確認と対応には記録を徹底する等日頃より注意しています。生活リズム、飲食物や献立の工夫はもちろん、医療面からも対応できるよう宮本内科医院受診時に排便回数や形状等も先生へ伝え必要に応じ対処していただいています。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	清潔保持の為だけではなく、感染症や肺炎予防の為にも実施を徹底しています。宮本内科医院受診時には先生に口腔内も必ず観察していただき舌の状態等をチェック、必要に応じて口腔ケアの仕方までの確なご指導をいただいております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者様個々の咀嚼、嚥下の能力に応じご希望も伺いながら食事や水分を提供しています。いずれも記録に起こし確認するようにし摂取量が著しく低下した場合等は宮本内科医院の先生へご報告する時もあります。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	マニュアルを作成する他、デイサービス職員と一緒に宮本内科医院の先生にご協力いただき勉強会等も実施しています。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日必ず調理器具等を夜勤者が消毒するように徹底しています。食材は週3回近所のスーパーへ利用者様と一緒に買い物へ行っています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関先には季節毎に花を植え明るい雰囲気作りに気を配るようにし、また常に清潔さを保つように心がけ、外や玄関の掃除は徹底して実施し、よく掃除をしているスタッフを見かけるというのも一つの雰囲気作りと思って努めています。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	強い日差しや気温には職員が配慮しつつリビングや廊下の装飾は利用者様と一緒に実施しています。作られた場所ではなく作っていく場所となるように心がけています。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビング以外にも利用者様が自由に過ごせる空間作りに努め時々利用者様同士お互いの居室を訪問しあう時間を大切に職員が邪魔をしないよう配慮しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	決して馴染みの物ばかり置く事がいい事ばかりとは限らず、利用者様本人が居心地よく感じるもの、求めているものが何なのか深く理解する事に努め我々が押し付けないように注意しています。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	24時間喚起を実施、空気洗浄機も利用しています。トイレ等は常に清潔にするようにし消臭に努めています。エアコン操作は主に職員が行い利用者様の体調にあわせ実施しています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すり等は無論、転倒のリスクが高い利用者様には足元が滑りやすいマット等は取り外し対応しています。最初から全てを取り除くのではなく必要に応じて対応しています。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	利用者様個々に得意な事を活かし生活していただき、良い意味での役割や居場所ができるように努めています。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	家庭菜園や植木等を楽しみ、洗濯物や布団を干したりします。天気が良い日は外のテーブルセットを利用しおやつやティータイムを楽しんでいられます。		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

【千葉県】グループホーム 輝の杜

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

地域の皆様との交流を大切にし、利用者様に健康な生活を送っていただく為に医療との連携が常時とれる体制を整えています。